

1 深淵夜花ミゾレ

<元ネタ>

深淵之水夜礼花神（ふかふちのみずやれはなのかみ）

- ・国津神
- ・古事記において天之都度閑知泥神の夫
- ・名前から水に由来のある神であると考えられるが、詳細は分からないとのこと。
- ・深淵神社などに祀られている。

<名前>

- ・深淵 水が淀んで深い淵になっているところ（淤迦美神・日河比売からか）
 - ・夜礼 遣る（水が目に見えない力によって送り出され流れてゆく）
 - ・花 端（木花知流比売からか）
- 水の運行の神格化とする説がある。

2 天之道水結

<元ネタ>

天之都度閑知泥神（あめのつどへちねのかみ）

- ・国津神
- ・古事記において深淵之水夜礼花神の妻
- ・名前から水に由来のある神であると考えられるが、詳細は分からないとのこと。
- ・粟鹿神社の書物「粟鹿大明神元記」には「阿麻乃都刀閑乃知尼（あまのつとへのちね）」と表記されている。

<名前>

- ・天之 水源（天上界とも）
- ・都度閑 集へ（水を集めるという意味か）
- ・知 道、水路

天上界の集められた水路という意味とする説がある。

3 木野山神河閻/高雨

<元ネタ>

淤迦美神（おかみのかみ）/霨神（おかみのかみ）

- ・日本神話では、神産みにおいて伊邪那岐神が迦具土神を斬り殺した際に生まれたとされている。
- ・古事記や日本書紀では、剣の柄に溜った血から閻御津羽神（くらみつはのかみ）とともに閻霨神（くらおかみのかみ）が生まれ、日本書紀の一書では迦具土神を斬って生じた三柱の神のうちの一柱が高霨神（たかおかみのかみ）であるとしている。

<名前>

- ・閻 谷間
 - ・高 山の上
 - ・霨 龍の古語。（龍は水や雨を司る神として信仰されていた）
- 水を掌る竜神とする説がある。

4 大雷耕樹

<元ネタ>

大雷神（おおいかつちのかみ）

- ・イザナミの死体（頭）から沸いた雷神の1柱。
- ・火災・盗難除け・農耕の神と信仰されていた。
- ・大山（神奈川県）では大天狗としても祀られていた。

5 大山積花峰

<元ネタ>

大山津見神/大山積神（おおやまつみのかみ）

- ・古事記では、神産みにおいて伊邪那岐命と伊邪那美命との間に生まれたとしている。
- ・日本書紀では、イザナギが軻遇突智を斬った際に生まれたとしている。
- ・数多くある大山祇神社の総本山は愛媛県の大三島にある大山祇神社である。
- ・山・海・酒・軍・武神であるといわれている。
- ・男神か女神かで意見が分かれている。

<名前>

- ・オオヤマ 山
- ・ミ 神霊

大いなる山の神とする説がある。

6 リリカ・メディ

<元ネタ>

リリカ (rilyca)

- ・神経が原因となる痛みに対して効果が期待できる薬。
- ・成分：プレガバリン
- ・神経が過剰に興奮した結果様々な神経伝達物質が過剰に放出されることによって生じる。
- ・Ca²⁺が、Ca²⁺チャネルから神経前シナプス内へ流入することにより様々な物質が放出され痛みが生じるのだとか。
- ・プレガバリンはCa²⁺チャネルの $\alpha 2\delta$ サブユニットに結合することでCa²⁺が流入することを抑えている。

7 鉦舞華

<元ネタ>

金山毘古神/金山彦神（かなやまひこのかみ）

- ・鉦山の神。
- ・神産みにおいて、イザナミが火の神カグツチを産む際に火傷し苦しんでいるときに、その嘔吐物から化生した神。
- ・古事記では金山毘古神・金山毘売神の二神、日本書紀では金山彦神のみが化生している。

8 鉦道彦

<元ネタ>

金山毘売神/金山姫神（かなやまひめのかみ）

- ・鉦山の神
- ・神産みにおいて、イザナミが火の神カグツチを産む際に火傷し苦しんでいるときに、その嘔吐物から化生した神。
- ・古事記では金山毘古神・金山毘売神の二神、日本書紀では金山彦神のみが化生している。

9 天水分滯

<元ネタ>

天之水分神（あめのみくまりのかみ）

- ・農業用水を分配する役割の神であり、農業神。
- ・日本神話では、神産みにてハヤアキツヒコ・ハヤアキツヒメ両神の子として国水分神（くにのみくまりのかみ）とともに登場する。
- ・「みくまり」が「みこもり（御子守）」と解され、子供の守護神、子授け・安産の神としても信仰されるようになったとも。

<名前>

- ・くまり 配り
- 水の分配を司る神とする説がある。

10 白狼役漸

<元ネタ>

前鬼（ぜんき）

- ・善童鬼/義覚/義学（ぜんどうき/ぎかく/ぎがく）
- ・役小角の式神や弟子であったと考えられる。
- ・陰陽の陽を表す赤鬼で鉄斧を手にしていることが多い。

11 白狼役互

<元ネタ>

後鬼（ごき）

- ・妙童鬼/義玄/義賢（みょうどうき/ぎげん/ぎげん）
- ・役小角の式神や弟子であったと考えられる。
- ・陰陽の陰を表す青鬼で理水を手にしていることが多い。

12 石鎚崎解

<元ネタ>

石鎚山法起坊（いしづちざんほうきぼう）

- ・石鎚山に棲む大天狗（役小角かと言われている）
- ・八大天狗別格として書かれているとも
- ・多くの眷属を従えて石鎚山を守護している

13 セレーネ・メタレイオン

<元ネタ>

セレーネー

- ・ギリシア神話の月の女神
- ・ローマ神話のルーナと同一視される。
- ・輝く黄金の冠を戴き、額に月をつけた絶世の美女で、銀の馬車に乗って夜空を馳せ行き、柔らかな月光の矢を放つ。
- ・華やかな夜の女王、星の女王、全能の女神など呼び名がある

14 ルーナ・アルテミス・月夜弥

<元ネタ>

アルテミス

- ・ギリシア神話に登場する狩猟・貞潔の女神
- ・後にセレーネーと同一視され月の女神とされた。

ルーナ

- ・ローマ神話に登場する月の女神
- ・ルーナ独自の神話は持たない
- ・ギリシア神話のセレーネーと同一視された

月読命（つくよみのみこと）

- ・天津神
- ・月を神格化した、夜を統べる神。
- ・古事記では伊邪那岐命が黄泉国から逃げ帰って禊ぎをした時に右目から生まれたとされ、日本書紀ではイザナギとイザナミの間に生まれたという話、右手に持った白銅鏡から成り出でたとする話もある。

<参考資料>

- ・フリー百科事典 ウィキペディア

<https://ja.wikipedia.org/>

- ・日本神話・神社まとめ

<https://nihonsinwa.com/>

- ・大山阿夫利神社

<http://www.afuri.or.jp/>

- ・國學院大學 古事記学センターウェブサイト

<http://kojiki.kokugakuin.ac.jp/>

- ・玄松子の記憶

<https://genbu.net/>

- ・医師たちがつくるオンライン医療事典 MEDLEY

<https://medley.life/>